

きれいな水を次の世代に

大淀町立大淀中学校

三年

前 貴夫

「ただいま」
野球の練習から帰って、泥だらけになったユニフォームを脱いで、シャワーで汗を流してお風呂に入った時疲れがすーっと取れてとてもゆったりした気分になります。やっばりお風呂はいいなと思います。今は、水道の蛇口を開けると水が出てきます。父が子ども頃は、家には水道がなく、山から水を引いてきて大きな容器のため、飲み水やお風呂などに使っていたそうです。僕は、水道の蛇口をひねると水が出てくるのは当たり前だと思っていたけど水道がない時代は大変な苦勞をしていたことがわかりました。なので、小さい頃から、手を洗うとき水を出しすぎないようによく注意されたことがあります。家庭科で「災害時の備蓄食品について調べてみよう」という課題が出されました。大き

な災害が起こったとき救援が到着するまでの最低3日間の備蓄食品を準備しておくことが必要だと学習しました。
調べて分かったことは、米やカレーなどのレトルト食品、インスタントラーメンなどの食べ物は何とか過ごせる量がありました。しかし、飲料水は13Lしかありませんでした。一人が一日に必要な飲料水は3L、3日間で四大家族が生活するには36Lが必要となります。大切な水が不足していることが分かりました。
それ以外に必要な水もあります。お風呂やトイレの水です。家では、お風呂の水を洗濯の水に使っています。でも、残りの水はすぐにと捨てています。しかし、災害時に水が出ないとお風呂にも入れないし、洗濯もできません。それにトイレの流す水もありません。こ

のためておいたお風呂の水はトイレの水にも
使えそうです。

僕の家の水道の水は、吉野川から来ていま
す。僕は、吉野川のクリンキャンペーンに
2回参加しました。きれいな水が流れている
と思っていた吉野川の川原には、たばこの吸
い殻やレジ袋やたぐさんのゴミが落ちていま
した。昔は家庭の生活排水はそのまま吉野川
に流されていたそうですが、今では少しづつ
下水道が整備されてきています。台所の流し
は吉野川そして海につながっていることを考
えて僕たちができることをやっけていきたいと
思います。それから、今、マイクロプラスチック
の海洋汚染が問題になっていることをテ
レビで見ました。その原因となるプラスチック
製品の使用量を減らすことや自然の中に出
さないようにすることはすぐにできません。プ
ラスチックのゴミの分別やエコバックを使う
ことなどをしていきたいです。

水は、地球全体を循環していることを学習
しました。自分たちが汚した水は、自分たち
のところへ帰ってきます。一人一人が意識し
て今できることを実行して、次の時代にもき

れいな水を守り残していきたいと思えます。